

情報格差解消と 安心・安全のアプリが FTTH構築の目的



木野隆之

Kino Takayuki
岐阜県輪之内町長

“長良川と揖斐川に挟まれた
輪中の町”での
FTTHの最大のアプリは
“安心・安全”だ

輪之内町の地域情報化とFTTH構築 ～無限の可能性に託す～

長良川と揖斐川に挟まれた輪中の町、岐阜県輪之内町(木野隆之町長)は、水害に苦しんできた長い辛い歴史を持つ。それ故に地震と“Tsunami”で壊滅した東北・関東大震災の被災地の悲しみが解る。2011年4月1日に(株)アミックスコム(本社:恵那市/伊藤義仁社長)の2局目のFTTH局(輪之内局)が開局する。このFTTH局のために輪之内町は約3億円の予算を投入した。目的はもちろん「安心・安全の町づくり」のためである。このFTTH局は開局日に単年度黒字となるよう、2700世帯のうち6割の世帯加入を目指して取り組んでいるからである。木野町長のFTTH局への思いをまずまとめていただいた。次にAmixcom輪之内局を構築・運営する当事者に経営・技術について原稿を寄せていただいた。なお、4月15日(金)には、この最強のFTTH局の構築物語を含む地デジ普及促進を目的にした「デジタルケーブル経営研究会(東海大会)」を開催する。本誌23ページの開催予告をご参照願いたい。(構成:天野昭)